

## 題名 草をはやす

### 1．学習のねらい

- (1) 何も生えていない土地に、どのような草がどんな順に生えてくるか、そしてそれらがお互いどう関わり合っているかを観察します。
- (2) 自然環境に人間が手を加えるということの意味や、影響、またはその時の配慮などについて考えます。

### 2．実施について

- (1) 実施時期：春から初夏が最適です。
- (2) 実施場所：校内の一角
- (3) 指導時間：1か月以上の継続観察を要します。
- (4) 指導対象：中学年以上

### 3．準備するもの

- ・巻き尺、長い釘（または短い杭）、ロープ、記録用紙など

### 4．学習の進め方

- (1) 校庭や運動場、使っていない学習園など、どこでもよいので、一辺2m四方程度の場所（許される大きさならこだわりません）を、釘とロープを使って囲みます。
- (2) 子どもたちといっしょに、その正方形（コドラートといいます。）の中に生えている草をすべて抜きます。
- (3) その後、どのような草がどんな順番に生えてきて、どのようにして草むらが形成されていくかを観察し、記録していきます。

### 5．指導上の工夫・留意点

#### (1) 工夫

はじめに抜いた草を標本や写真で記録しておく、新たに生えてくる植物と比較できるので、新しい発見があるかも知れません。

3年生が学習する場合は、草抜きの時に植物の体のつくりや根の様子の違いなど、詳しく観察してスケッチしておく、理科の授業に役立ちます。

新たに芽生えた草の種子は、どこからきたのか、またはどこにあったのかなどを考えさせると学習が深まります。

#### (2) 留意点

観察中であることを、表示しておく必要があります。

継続観察が必要です。全景の写真撮影もしておくといでしょう。

草の名前は、詳しい先生に聞いて、正しく記録します。

# 【ワークシート】《 記録用紙 》

|  |           |
|--|-----------|
|  | 月 日 ( 日目) |
|  | 観さつ者      |
|  | 気づいたこと    |

